

令和4年4月

保育所等利用待機児童数ゼロを2年連続達成

と き 4月8日（金）発表

区は、令和4年4月1日現在、昨年に引き続き2年連続で、保育所等利用待機児童数ゼロを達成した。

区ではこれまで、全国初の独自幼保一元化施設「練馬こども園の創設」、認可保育所等の新設等に取り組み、全国トップクラスとなる約8,000人の定員増（8年間）を果たしてきた。

2年連続の待機児童数ゼロの実現を受けて、前川 耀男（まえかわ あきお）練馬区長は、「就任以来、全国トップクラスの保育所定員約8,000人増を実現し、昨年に続いて、今年も待機児童ゼロを達成することが出来た。保育所は、社会を支えるインフラ。引き続き、働く保護者のニーズに応えられるよう、取組を継続していく。」とコメントした。

【練馬区の待機児童対策の歩み】

区の保育需要は増加を続け、平成26年（2014）年4月の待機児童数は487人に上った。

前川区長は、平成26年4月の就任以降、待機児童の解消を区政の最重要課題の一つに掲げ、認可保育所や地域型保育事業などの多様な保育施設に加え、平成28年度から区独自の幼保一元化施設である「練馬こども園」を創設し、新規整備・定員拡大を積極的に推進。また、1歳児の保育需要に対するセーフティネットとなる「1歳児1年保育事業」を区独自に実施。こうした取組により、平成26年から令和4年までの8年間で約8,000人の定員増を回り、2年連続で国要領に基づく算定基準での待機児童数ゼロを達成した。

今後も、令和5年4月に向け、私立認可保育所9か所を整備し、410人の定員を拡大するほか、練馬こども園1園を認定し、保育定員の拡大を進める。

【区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」】

春・夏・冬休みを含む通年で、9時間から11時間の預かり保育を実施する私立幼稚園を「練馬こども園」として認定
〔1歳児1年保育事業〕

1歳児を対象に、新設保育園で4・5歳クラスを設置していない園の空き部屋等を活用し、最大1年間の保育を実施

